

# 牧師・大頭の「焚き火」日記

大頭眞一◎著

## 牧師の仕事は楽しい!

人に出会い、話を聞き、聖書を語り、祝福を祈る、  
ただそれだけにとっても奥が深い。日本が知らない聖職者の日常。

篆刻の達人、旧車オタク、ロックアーティストとの出会い、神学談義、地域の地鎮祭と牧師の祈り、結婚式で大ミス、教会で般若心経を読む会、イタズラメールとの戦い、バイクと事故と入院、ご近所さんとのカラオケ、特殊詐欺事件、イギリス 留学……。ゆるゆると流されているようで、何かに導かれるような、ひとりの男の物語。

大頭 眞一（おおず・しんいち）

1960年神戸市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、三菱重工に勤務。英国マンチェスターのナザレン・セオロジカル・カレッジ（BA、MA）と関西聖書神学校で学ぶ。日本イエス・キリスト教団香登教会伝道師・副牧師を経て、現在、京都市北区の京都信愛教会と、京都府八幡市の明野キリスト教会牧師。関西聖書神学校講師。  
主な著書：『聖書は物語る 一年12回で聖書を読む本』（2013、2020）、『聖書はさらに物語る 一年12回で聖書を読む本』（2015、2019）、焚き火を囲んで聴く神の物語・説教篇①『アブラハムと神さまと星空と一創世記・上』②『天からはしご一創世記・下』③『栄光への脱出 出エジプト記』④『聖なる神の聖なる民 レビ記』⑤『何度でも何度でも何度でも愛 民数記』⑥『えらべ、いのちを 申命記・上』（2019年～）

